

報告事項 8

海翔高校を存続させるための意見書（飛島村議会議長提出）について

このことについて、別紙資料に基づき報告します。

令和4年10月17日

高 校 改 革 室

提 出 書

議 第 3 2 5 号

令和 4 年 9 月 2 0 日

愛知県教育委員会教育長 飯 田 靖 殿

愛知県海部郡飛島村議会

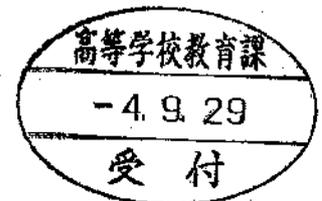
議 長 渡 邊 一



海翔高校を存続させるための意見書

地方自治法第 99 条の規定により、別紙意見書を提出します。

【担当 飛島村議会事務局 宮川 電話 0567-97-3492 (直通)】



海翔高校を存続させるための意見書

2021年11月8日「県立高等学校再編将来構想（案）」が発表され、それに対して200件を超えるパブリック・コメントが寄せられました。その多くが統廃合に疑問を呈するものでした。しかしながら、案の発表から2カ月もたたない2021年12月22日に愛知県教育委員会は、全日制課程への進学率の低下や欠員の急増、中学校卒業生数の減少を理由に「県立高等学校再編将来構想」を策定し、2035年度まで「具体化検討委員会」を継続設置し「具体的な取組を検討し、順次、公表」するとしました。

尾張地域においては、2023年度より、稲沢高校・稲沢東高校・尾西高校を「統合」、津島北高校・海翔高校を津島北高校に「統合」するとしています。

私たちは「統廃合」や「学科改編」ではなく、少人数学級の実現をすれば、現在の学校を統廃合する必要はないと考えています。とりわけ海翔高校については、統廃合の合理的理由が全く存在しません。そもそも、2003年に「海南高校を廃校にして、蟹江高校に統合する」と発表しておきながら、愛知県教育委員会は迷走して、蟹江高校を廃校にして、海南高校の地に海翔高校を創設しました。

海翔高校は普通科（環境防災コース、スポーツコース、普通コース）と福祉科を設置する県内初の総合選択制の高等学校として2005年にスタートし、まだ創立18年の学校です。福祉科の施設を何億円もかけて建設したにもかかわらず、それをなくしてしまうのは、教育行政の失敗としか言えません。

さらに、海翔高校は建物の長寿命化の工事が昨年終わったばかりで、トイレも洋式に改修され、制服も新たなものになったばかりです。生徒の皆さんも新たな校舎、新たな制服、新たな気持ちでスタートしたばかりです。

また、福祉科生徒の介護福祉士国家試験合格率も急上昇し、地元の福祉施設に就職して貢献しています。エッセンシャルワークの大切さが叫ばれている今日、福祉科を有する海翔高校こそ残すべきだと考えます。

海翔高校が廃校になると、尾張の最南端に位置する弥富市、蟹江町、飛島村には県立高校はゼロになってしまいます。一方その北に位置する愛西市、津島市、あま市には、県立高校が7校あります。この地域偏在を解消するためにも、海翔高校を存続させる必要があります。

以上の趣旨により、下記の項目の早期実現を求めます。

記

1. 海翔高校の統廃合決定の撤回と、同校を存続させること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年9月20日

愛知県海部郡飛鳥村議会

愛知県教育委員会教育長 飯 出 靖 殿